

平成 30 年～令和 4 年 人口動態保健所・市区町村別統計 (標準化死亡比) の概要について

健康福祉部健康福祉政策課

【標準化死亡比について】

- ・標準化死亡比とは、性、地域ごとに「期待死亡数」（その地域の 5 歳階級別死亡率が全国の死亡率と同じとしたときの死亡数）に対する「実際の死亡数」の比を 100 倍したものであり、年齢構成の違いの影響を除いたものとして死亡状況の比較に用いている。
- ・標準化死亡比が 100 より大きい場合、その地域の死亡率は全国より高いと判断され、100 より小さい場合、全国より低いと判断される。
- ・人口動態保健所・市区町村別統計は、昭和 58 年から 5 年ごとに公表されており、今回は 8 回目となる。
※平成 30 年～令和 4 年の数値は、令和 6 年 4 月 19 日（金）に厚生労働省が公表。

結果の概要

1 都道府県別

低い方から男性が全国 1 位、女性が全国 2 位と前回調査に引き続き全国上位を維持している。（前回：男性 1 位、女性 2 位）

また、死因別ではがんが低い方から男性、女性ともに全国 1 位になっており、心疾患、脳血管疾患と比べてもがんが突出して低い数値となっている。

【都道府県別の上位 3 位】

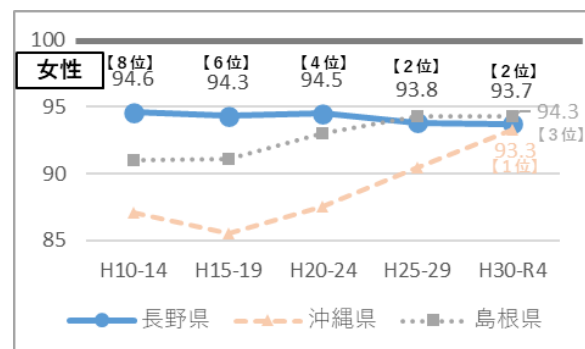
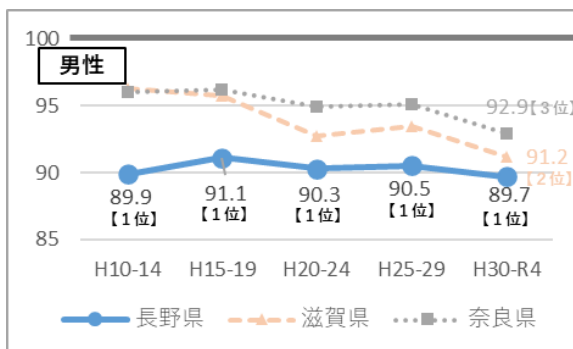
	1 位	2 位	3 位
男性	長野県 (89.7)	滋賀県 (91.2)	奈良県 (92.9)
女性	沖縄県 (93.3)	長野県 (93.7)	島根県 (94.3)

【長野県の死因別の状況】

	がん	心疾患	脳血管疾患
男性	85.4 (全国 1 位)	89.4 (全国 8 位)	105.3 (全国 29 位) ※
女性	91.7 (全国 1 位)	88.4 (全国 6 位)	116.7 (全国 38 位) ※

※前回は男性 110.6、女性 120.8 となっており、前回に比べて数値が改善している。

(参考) 上位 3 県の標準化死亡比 (全死因) の推移



2 市町村別

長野県内の市町村の状況としては、全国上位 50 位までに占める市町村数が、男性 11 市町村、女性 6 市町村と、前回（H25～29）の男性 7 市町村、女性 4 市町村からそれぞれ増えている。（順位は、全国上位・下位 50 位のみ公表）

都道府県別にみると、男性が長野県、東京都、神奈川県の順に、女性は熊本県、沖縄県、長野県の順になっており、男女ともに長野県が上位 3 位に入っている。

また、前回数値より減少した市町村は男性 45、女性 43 と半分以上の市町村で標準化死亡比が減少している。

【都道府県別の全国上位 50 位に位置する市町村数】

	1 位	2 位	3 位
男性	長野県（11 市町村）	東京都（8 市町村）	神奈川県（7 市町村）
女性	熊本県（7 市町村）	沖縄県（7 市町村）	長野県（6 市町村）

【全国上位 50 位の概況】

男性		女性	
1 位	大阪府豊能町 76.7（3 位）	1 位	群馬県川湯村 64.0（2 位）
2 位	横浜市青葉区 77.1（1 位）	2 位	沖縄県北中城村 70.3（1 位）
3 位	川崎市麻生区 77.4（2 位）	3 位	松川村 77.5（23 位）
・		・	
6 位	茅野市 81.7（21 位）	8 位	大町市 80.7
7 位	白馬村 81.7（50 位）	12 位	中川村 82.7
14 位	宮田村 82.8	24 位	富士見町 84.9
18 位	松川村 83.4	36 位	高森町 86.0
27 位	松川町 84.3	49 位	宮田村 86.9（12 位）
38 位	小布施町 84.8		
42 位	豊丘村 85.4		
43 位	高森町 85.5		
44 位	富士見町 85.8（32 位）		
46 位	岡谷市 85.9		
50 位	中野市 86.3		

※（ ）内は前回の順位。括弧書きがない市区町村の前回順位は 50 位より下位。

※全市町村の数値が公表されているが、公表数字は小数点第 1 位までのため、50 位より下位の市区町村の順位は不明。

【前回調査（H25～29 年）との比較】

	前回との比較	市町村数	主な市町村
男性	減少	45	小布施町、中野市、飯綱町、宮田村
	変動なし	0	
	増加	32	塩尻市、小川村、高山村、立科町
女性	減少	43	大町市、栄村、箕輪町、木島平村
	変動なし	0	
	増加	34	南箕輪村、小川村、高山村、飯山市